

若者まちづくり参画・交流促進事業について

1 事業開始のきっかけ

令和元年9月に実施した人口減少に関する市民アンケートの結果から、「地域への愛着」を持っている人ほど上越に「住み続けたい」と回答した人が多かった。

こうした結果を踏まえ、若い年代から積極的にまちづくりに参画してもらうことによって、まちへの理解・関心を高めるとともに、地域への愛着を醸成し、将来的な移住・定住にもつなげていくことを目的に事業を開始した。

2 令和2年度取組について

- 事業の初年度であったことから、若者との関係づくり（キーマンの発掘）を進めるため、「若者がまちづくりに参画するためにはどうすればよいか」を考える若者を市が募集した。
- 集まった若者（サポートメンバー）で意見交換を5回実施し、イベント（U-40TALK）を開催した。

**【事業の成果】**

- イベントの開催等を通じて、サポートメンバーと関係を構築することができた。
- サポートメンバーが中心となり、20代、30代の市民有志団体「さくらボ」が組織された。
※ さくらボは、「上越市を若者が楽しめるまち」にすることを目的に活動。

**3 令和3年度取組について****【方向性】**

- ◎ 若者が自分たちで企画・実現する組織として確立させるため、引き続き「さくらボ」の活動を支援する。
⇒ 「さくらボ」を技術面、資金面からサポートする体制（若者活躍タスクフォース）を構築し、若者によるソーシャルビジネス等の起業につなげる。

**【協議会員の皆様と意見交換させていただきたい事項】**

- 令和3年度のさくらボの目標
 - ① 団体としての活動実績づくり（若者同士の交流イベント等の開催）
 - ② 中学生や高校生を含めた若者が気軽に集える「さくらボ」の拠点づくり
⇒ 「さくらボ」に企画してもらいたいことはないか。
⇒ 「さくらボ」に対してできる支援（技術面、資金面）はないか。
⇒ 会員の皆様と連携して取り組むことはできないか。